

**進行腎細胞がんにおける
1st line 治療としての
Nivolumab+Cabozantinib 療法について**

スケジュール

ニボルマブ(オプジーボ®)	240mg/body	d.i.v.	day1
カボザンチニブ(カボメティクス®)	40mg/day	p.o.空腹時	連日

14日毎

カボザンチニブ(カボメティクス®)について

チロシンキナーゼ阻害剤

単独服用の場合は 60mg 服用

薬価:60mg:約 2.2 万円 20mg:約 8000 円

空腹時服用:食後では Cmax,AUC 増加

ガイドライン上の扱い

淡明細胞型 腎細胞がんの

一次治療での推奨レジメンの一つ

治療効果

進行腎細胞がん患者の

1st line において

ニボルマブ+カボザンチニブとスニチニブを比較した試験(CheckMate 9ER)

N=323

ニボルマブ+カボザンチニブ vs スニチニブ

PFS(無増悪生存期間)中央値 16.6 ヶ月 vs 8.3 ヶ月

OS(全生存期間)中央値 37.7 ヶ月 vs 34.3 ヶ月

副作用%(Grade3 以上)

ニボルマブ+カボザンチニブ vs スニチニブ

下痢 59% vs 46%(6% vs 5%) *発現時期中央値 88.5 日

手足症候群 39% vs 42%(8% vs 8%) *発現時期中央値 51.5 日

高血圧 32% vs 33%(12% vs 12%) *発現時期中央値 29 日

貧血 10% vs 20%(0.6% vs 3%) 血小板減少 6% vs 19%(0.3% vs 4%) 好中球減少 5% vs 16%(0.9% vs 4%)

*骨髄抑制 発現時期中央値 88 日

甲状腺機能低下 36% vs 30%(0.3% vs 0.3%)

倦怠感 28% vs 32%(3% vs 5%)

悪心 23% vs 27%(0.3% vs 0%)

ALT 上昇 28% vs 6%(6% vs 0.9%)

味覚障害 22% vs 21%(0% vs 0%)

粘膜炎 19% vs 25%(0.9% vs 2%)

皮疹 21% vs 7%(2% vs 0%)

発声障害 12% vs 3%(0.3% vs 0%)

低マグネシウム血症 11% vs 3%(0.3% vs 0%)

リパーゼ増加 18% vs 13%(7% vs 5%)

アミラーゼ上昇 14% vs 9%(4% vs 2%)

関節痛 10% vs 5%(0% vs 0%)

*発現時期中央値：ニボルマブ+カボザンチニブでの発現時期中央値(適正使用の手引きより)
蛋白尿 56日、肝不全 71日、腎障害 71日、
血栓塞栓症 100日、出血 134日、消化管穿孔 198日、顎骨壊死 271日

備考